



ユーラシア地域大国（ロシア、中国、インド）の経済の比較研究



研究者所属・職名 : スラブ・ユーラシア研究センター・教授

ふりがな たばた しんいちろう

氏名 : 田畑 伸一郎

主な採択課題 :

- [基盤研究\(A\)「ユーラシア地域大国（ロシア、中国、インド）の発展モデルの比較」\(2015-2018\)](#)
- [新学術領域研究\(研究領域提案型\)「ユーラシア地域大国の比較研究」\(2008-2012\)](#)

分野 : 地域研究, 比較経済体制

キーワード : 比較経済体制, ロシア, 中国, インド, 国際経済

課題

- **なぜこの研究をおこなったのか？（研究の背景・目的）**
申請者が領域代表者を務めた新学術領域研究「ユーラシア地域大国の比較研究」に含まれた計画研究「持続的経済発展の可能性」では、ロシア、中国、インドの比較により、特に1990年代以降の3国の発展モデルの共通性や違いを明らかにし、同時に、これら3国が世界システムのなかで重要な役割を果たすようになった原因を明らかにした（図1）。本研究では、世界金融危機を経て、3国の発展モデルがどのように変化したのかを明らかにすることを目的として設定した。
- **研究するにあたっての苦労や工夫（研究の手法）**
メンバーがそれぞれの専門とする国を担当するのではなく、分野別に担当を決め、それぞれが3国の比較を行う体制を取った。それぞれが専門とする国以外の状況・実態を知るために、3国を共同で訪問し、聞き取り調査などを行った。2015年度にはロシアのモスクワ、2016年度には中国の深圳と香港、2017年度にはロシアのサンクトペテルブルク、2018年度にはインドのムンバイにおいて合同の現地調査を行った。

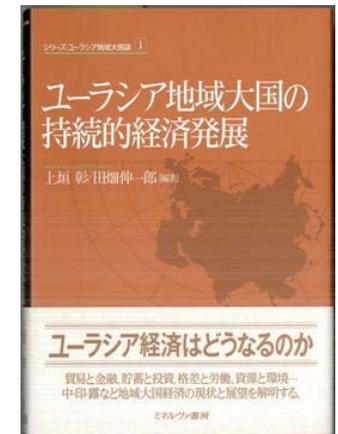


図1 新学術領域研究の成果



ユーラシア地域大国（ロシア、中国、インド）の経済の比較研究

研究成果

●どんな成果がでたか？どんな発見があったか？

本研究の最終的な研究成果は、2018年6月に北海道大学で開催された第58回比較経済体制学会全国大会における共通論題「ユーラシア地域大国の比較と関係」の基調報告として発表された。この共通論題では、本研究の研究代表者・分担者・協力者の計7名が計4本の報告を行った。このうち共通論題の「比較編」で発表した3本の報告は、本研究で重視してきた中央・地方財政関係、マクロ経済、個別産業（鉄鋼業）に関するロシア、中国、インドの比較であった。もう1本は共通論題の「関係編」で報告されたもので、ユーラシア経済連合に関するものであった。この研究報告のうち、比較編の3本については、さらに修正を加えたものが、比較経済体制学会の学会誌において特集「ユーラシア地域大国の国際比較」として掲載された。関係編の1本も同学会誌の翌号に掲載された。

本研究で重視したロシア、中国、インドの中央・地方財政関係の比較では、3国の制度の比較を行った後、財政再分配機能や地方財政の自立性などを分析し、3国の特徴を明らかにした（表1）。特に、ロシアでは最も中央集権的な財政構造となっているが、財政再分配機能は最も低いこと、中国では最も地方分権的な財政構造となっており、中央から地方への移転が最も大きな役割を果たしているが、地方財政の自立性が最も高いこと、インドでは地方の自主財源が少なく、地方の自立性が低いことなどを明らかにした。

	収入の中央 集権度	支出の中央 集権度	財政の再分 配機能	中央-地方 間のパーゲ ニングの余 地	財政規律
ロシア (1990年代)	少し低い	少し高い	極めて小さい	極めて大きい	弱い
ロシア (2000年代)	高い	高い	小さい	小さい	強い
中国 (財政請負制 期)	極めて低い	極めて低い	小さい	大きい(地 方が強い)	強い(競争 による規律 付け)
中国 (分税制期)	低い	極めて低い	大きい	表面上は小 さい	表面上は強 い(隠れ債 務の存在)
インド	低い	低い	大きい	大きい(政 権により変 化)	政権により 変化

表1 ロシア・中国・インドの財政制度比較

今後の展望

●今後の展望・期待される効果

中国、インド、ロシアは、これまで、米国、欧州、日本が支配してきた世界経済のなかで、近年、大きな役割を果たすようになってきた。これら3国の経済システムは、日米欧の経済とは異なるモデルを提示している（表2）。これら3国の世界経済に対する影響力が今後さらに高まると予想されるなかで、本研究は有益な知見を与えたと自負するが、この問題に関しては、本研究のような比較研究、政治・国際関係・思想・文化などを含む学際的研究により、いっそうの究明が必要であると考えられる。

		(対GDP比 %)			
		合計	企業	家計	政府
ロシア	総貯蓄	30.7	11.4	6.9	12.4
	総投資	21.6	13.7	4.2	3.6
	貯蓄投資差額	9.2	-2.3	2.6	8.8
中国	総貯蓄	48.2	22.1	22.1	4.0
	総投資	42.5	27.7	10.2	4.6
	貯蓄投資差額	7.0	-5.6	11.9	-0.6
インド	総貯蓄	34.3	7.8	23.2	3.3
	総投資	35.3	13.9	11.9	8.1
	貯蓄投資差額	-1.0	-6.1	11.2	-4.8

表2 3国の貯蓄・投資バランス (2004~2007年平均)